ſ	事務事業名	7	426	26 環境空間暫定整備事業											
I	担当組織		環境経済部				みどり公園課				担当			公園担当	
I		H29	15	06	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	H29	01	08	04	06	05	01	記入日	平成29年06月05日
1		H28	15	06	00		H28	01	08	04	06	98	96		

1. 事務事業の概要

	総合振興計画上の位置づけ										
基本目標	04	● 対象									
分野	01										
施策	39	○ 対象外									
事業期間	平成	平成13年度 ~ 平成32年度									
根拠法令 通 達 等	グリ	ーンコミュニティプラン21計画(県)	をかいどう21।								
事業区分	0	任意のもの									
IS014001	•	〇 4. 対象外									
対象	鉄	鉄道高架両側道路を利用する市民はもとより、環境空間に隣接する住民及び駅利用者、また散策路としての利用者									
事業目的	JR有効活用で合意された環境空間を緑地・緑道として整備することで、緑の創出を図り、まちの顔としての景観形成や、良好な居住環境の形成を図る										
事業内容		環境空間整備計画である「戸田華かいどう21」に基づき、JR有効(暫定)活用で確保された合意書緑地箇所を緑地・ 緑道として整備を実施する									
実施主体	■市	うによる単独直営 ■委託 (□3th・財団	■企業	□市民·NPO) □協働·協力	()						

2. 実施結果

状況

の分析

		1147								
			平成28年度		平成29年度	平成	30年度	平月	3 1 年度	平成32年度
			執行額(千円)	予算額 (千円)		〔(千円)		額(千円)	計画額(千円)
		事業内容	JRと協議		戸田 1 (川岸) 基本設計		1 (川岸) 設計	第	1 期整備	第2期整備
事		事 業 費		0	3, 627		6, 889		47, 000	47, 000
事業の予算		国庫支出金		0	0 0		0		0	0
予	財源内訳	県支出金	0		0	0		0		0
		起		0	0	0		0		0
実績		その他		0	0		0		0	0
小貝		一般財源	0		3, 627	6, 889			47, 000	47, 000
		人 件 費	1, 36	9.8	1, 027. 35		2, 054. 7		2, 054. 7	2, 054. 7
	投入		0.2人		0. 15 人	0.3人			0.3人	0.3人
	人員		0人		0.09 人	0.05 人			0.05人	0.05 人
	事	¥費+人件費	1,	370	4, 654		8, 944		49, 055	49, 055
		指標名		単位	説明・算定]式	H 2 7 目 H 2 7 算		H 2 8 目標 H 2 8 実績	H 2 9 目標 H 2 9 実績
目標	活動		^{投整備} m		当該年度中に整備 緑地・緑道面積	された	60	1 02. 89	(
目標達成状況	活動 (2)									_
	成果	緑地・緑道整備進	進捗率 9		当該年度中に整備			100 0		-
兀	<u>1</u> 成果				緑地・緑道整備率	<u>\$</u>		100	() –
	双汞									
		C:活動・成果と	もに達成できなフ	かった。						
目目	票達成	(判断理由>								
I — '		川岸(百円1)2 686㎡については、巫成20年度以降の敦健内宛た「Dト拉議」、同環接空間を巫成31~32年度に敦機するこ								9年度に敕供する -

川岸(戸田1)2,686㎡については、平成29年度以降の整備内容をJRと協議し、同環境空間を平成31~32年度に整備するこ

とを目指し、H29年度予算に基本設計業務委託費を計上した。

3.評価結果

		評価結果		施策の目標達成に向けて貢献しているか。			
	26年度	27年度	28年度	一:未設定			
 施策への貢献度				<判断理由>			
W2717	_	_	_				
	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。			
			1				
	26年度	2 7 年度	28年度				
経費水準				<判断理由>			
	_	_	_				
		評価結果		事業手法は適正か。			
	26年度		1				
事業手法	26年度		1				
事業手法	26年度		1	一:未設定			
事業手法	26年度		1	一:未設定			
事業手法	26年度		1	一:未設定			
事業手法	26年度		28年度	一:未設定			
事業手法	_	2 7 年度 —	28年度	-:未設定 <判断理由> 受益の公平性と負担の適正化は図られているか。			
	26年度	27年度 —	28年度	-:未設定 <判断理由> 受益の公平性と負担の適正化は図られているか。			
事業手法	26年度	27年度 —	28年度	一:未設定 <判断理由> 受益の公平性と負担の適正化は図られているか。 ー:未設定			
	26年度	27年度 —	28年度	一:未設定 <判断理由> 受益の公平性と負担の適正化は図られているか。 ー:未設定			

4. 平成28年度中に実施した見直し内容

	平成29年度以降の環境空間(川岸(戸田1))の整備内容をJRと協議し、平成31~32年度に整備する実施予
	定を作成した。
見直し内容	
	平成29年度に川岸(戸田1)を整備するため、基本設計業務委託費を平成29年度予算に計上した。
見直しの効果	

5. 今後の方針

	● 1現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4 他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	○平成30年度で終了	○平成29年度で終了	〇 平成28年度で終了	
事業の方向性	<判断理由> 平成29年度の基本設言	十業務後、実施設計業務	を実施し、環境空間を	整備(1~2期工事)	する予定のため。
今後の取組方針		设計業務において、市民 戊及び合意形成を図って		施し、地元町会等の方	々と環境空間の整備方